

## 会議議事録

会議名	2020年度第2回くすり・調剤分野教育課程編成委員会
対象学科	くすり・調剤事務科
開催日時	2021年2月18日(木) 13:30~15:30
場所	本校 406 教室
出席者 (敬称略)	<p>1. <u>外部委員</u>：計2名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・篠原陽子（一般社団法人日本チェーンドラッグストア協会 ヘルス・アンド・ビューティケア人材育成センター事務局長）</li> <li>・三上真理子（株式会社ツルハ人材採用部係長）</li> </ul> <p>2. <u>本校委員</u>：計4名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・橋本正樹（校長）</li> <li>・中村博臣（くすり・調剤事務科学科長）</li> <li>・結城久美子（くすり・調剤事務科教員）</li> <li>・宮下明久（事務局長）</li> </ul> <p>3. <u>オブザーバー</u>：計1名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・渋谷大樹（鍼灸医療科教員）</li> </ul> <p>4. <u>事務局</u>：計1名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・松本晋圭</li> </ul> <p style="text-align: right;">（合計8名）</p>
欠席者	なし
配付資料	<p>・ <u>事前送付</u>：</p> <p>(1)資料1：2020年度第1回くすり・調剤事務分野教育課程編成委員会議事録</p> <p>(2)資料2：前回委員会以降の主な経過報告 別添A：2020年度前期授業アンケート結果</p> <p>(3)資料3：学生募集対策</p> <p>(4)資料4：2021年度カリキュラム表</p> <p>(5)資料5：「東洋医学概論」シラバス</p> <p>(6)資料6：薬店演習</p> <p>(7)資料7：オンライン授業の拡充の検討</p> <p>(8)資料8：登録販売者試験合格率向上の対策</p>
委員長	橋本校長
議題等	<p><u>議題1</u>：「校長挨拶」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・橋本校長より、今年度はコロナに振り回された1年だった。学校行事の中止、授業は4月以降しばらくオンライン授業、6月以降は分散登校、7月以降は原則登校して対面の授業を行った。オンラインの長所もあるので、ハイブリッド型の授業運営を積極的に行っていきたい。</li> <li>・業界も変化の中で大変だと思うが、情報を共有させていただき、本校のカリキュラムや学生募集に生かしていきたい、との挨拶が行われた。</li> </ul>

議題 2：「前回委員会議事録の確認」（資料 1 参照）

- ・事務局より前回の議事録について諮ったところ、修正意見はなく、原案のとおり確認された。

議題 3：「2020 年度の活動報告等について」

- ・中村学科長より、「2020 年度第 1 回委員会以降の主な経過」について、資料 2 に基づき説明が行われ、確認、了承された。
- ・詳細は別紙のとおり。

議題 4：「2020 年度第 1 回委員会における意見・提案に対する報告」

(1)学生募集対策：

- ・中村学科長より、「学生募集対策」について、資料 3 に基づき説明が行われ、確認、了承された。
- ・詳細は別紙のとおり。

(2)2021 年度生カリキュラム：資料 4

- ①追加教科（2022 年度 2 年次前期）：「介護保険制度の仕組みと流れⅡ」
- ②新規教科 1（2021 年度 1 年次前期）：「東洋医学概論」（資料 5 参照）
- ③新規教科 2（2022 年度 2 年次後期）：「現場で使える外国語」

- ・中村学科長より、資料 3～5 に基づき説明が行われ、確認、了承された。
- ・詳細は別紙のとおり。

議題 5：「2021 年度の教育活動と学科運営等に向けて」

(1)職業実践専門課程申請（～9 月末）

(2)薬店実習（資料 6 参照）

(3)ホームカミングデー（7 月）

(4)オンライン授業の拡充の検討（資料 7 参照）

(5)登録販売者試験合格率向上の対策（資料 8 参照）

- ・中村学科長、結城教員より、資料 6～8 に基づき説明が行われ、確認、了承された。
- ・詳細は別紙のとおり。

議題 6：「次回日程、その他」

- ・中村学科長より、次回のテーマの報告及び日程調整が行われ、2021 年 7 月 5 日（月）午後 3 時からを予定することが決定した。

以上

## 2020 年度第 2 回くすり・調剤事務分野教育課程編成委員会の主な討議内容

議題 3：「2020 年度の活動報告等について」の詳細：

(1)中村学科長より、「2020 年度第 1 回委員会以降の主な経過」について、資料 2 に基づき説明が行われた：

- ①退学状況（1 月末現在）
- ②就職内定状況（1 月末現在）
- ③学生募集状況（1 月末現在）
- ④授業アンケート結果
  - ・今年からインターネットによるアンケートに変更し、前期は専任教員のみで実施した。
- ⑤2019 年度教員研修実績
  - ・資料のとおり
- ⑥2020 年度生登録販売者試験結果

(2)橋本校長より、以下の補足説明が行われた：

- ・アンケートの居眠りと私語は十年来の課題だが、学校の方針としては、放っておかないこと。寝ている場合は起こす、私語は注意をするということを教職員に示している。
- ・登録販売者の試験は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、県などを超えての複数受験が難しい状況になってきているが、将来的には、全国統一の国家試験的なものになる可能性もあり、そのような状態になっても合格率が下がらないように、学科として、しっかりと学生への指導をよろしくお願いしたい。

議題 4：「2020 年度第 1 回委員会における意見・提案に対する報告」についての詳細：

(1)中村学科長より、「学生募集対策」について、資料 3 に基づき説明が行われた：

- ・メニューをいろいろ工夫してオープンキャンパスを実施している。
- ・各方面での登録販売者の制度がもっと PR されて、「登録販売者」の資格の知名度が上がってくれることを希望している。

(2)中村学科長より、「2021 年度生カリキュラム」について、資料 4、5 に基づき説明が行われた：

- ①追加教科（2022 年度 2 年次前期）：「介護保険制度の仕組みと流れⅡ」
  - ・公費に関連する複雑な調剤報酬の計算などの知識習得を強化するため、1 コマ増やした。
- ②新規教科 1（2021 年度 1 年次前期）：「東洋医学概論」（資料 5 参照）
  - ・漢方を中心に東洋医学も教える教科に位置付けている。
- ③新規教科 2（2022 年度 2 年次後期）：「現場で使える外国語」
  - ・ドラッグストア、調剤薬局で役に立つような英語を中心に教える教科に位置付けている。

(3)カリキュラムに対する質問・意見等：

質問・意見等	回答等

<p>(1)登録販売者向けの研修を実施していると、漢方をもっと学びたいという声が多い、また、コロナ禍で外出が少なくなっているため、栄養や食事が大事だという意見も多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢方および栄養に関する授業については、今後も、特に力を入れていきたい。</li> <li>・栄養については、実際に、タニタ式のカロリーを考慮にいれた料理作りなども授業内に取り入れて、教員が楽しく学べるように「食品栄養学」の教科で、工夫して教えている。</li> <li>・登録販売者の対策の授業の中で、登録販売者試験対策テキスト第3章（医薬品の薬理作用）の中で「生薬・漢方」を楽しく学べるように工夫していきたい。</li> </ul>
<p>(2)社内に教育システムがあると思うが、どのような講座が人気か、また試験対策以外の講座は何かされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今はオンラインになった。クイズ形式のものを毎回やっている。また登録販売者の知識の維持を目的に、講座と社内で月1回の勉強会やエリア別の勉強会、医薬品を対象にしたものは月に1～3回実施している。</li> <li>・学生募集の視点からも、興味を持って、自ら進んで楽しく学べるような工夫をしていることをアピールしてほしいと思う。</li> </ul>

議題5：「2021年度の教育活動と学科運営等に向けて」についての詳細：

(1)中村学科長、結城教員より、資料6～8に基づき以下の説明が行われた。

①職業実践専門課程申請（～9月末・中村学科長より説明）

- ・くすり・調剤事務科の新規申請が決まったので、準備を進めている。

②薬店実習（資料6参照・中村学科長より説明）

- ・数年前から調剤補助員としてピッキング業務ができるようになったこと、職業実践専門課程の申請に実習が必要なことなどから、毎年7月を中心に4日間の薬店実習を行う。
- ・実習の内容は、業界全体の状況と推移、調剤薬局・ドラッグストアでの業務の流れ、現場での実際の体験談などの研修、ピッキングなどの実習体験を計画している。
- ・薬店実習に対する質問・意見等：

質問・意見等	回答等
<p>(1)薬店実習は、学生にとってはよい経験になると思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業界の先輩から、社会人としての心構えや体験談を聞くことは、学校では教えられない部分なので期待している。</li> </ul>
<p>(2)座学だけでなく、実務に沿って教えるのはよいことだと思う。登録販売者の業務の幅が広がり、地位の向上につながるとよい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来、登録販売者が1週間研修をすると、法的に認められるピッキング業務ができるような資格制度が確立されると、学科として目玉になると思う。</li> </ul>

<p>(3)薬店実習でこういうことを教えると役に立つとか、こういう内容を入れるとよいというご意見をぜひお伺いしたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習先で教えてくれる方の意見（アドバイス、よかった点、改善点）を学生よりの報告書に書いてもらうとよい。</li> <li>・ピッキングは実習先によって違うので、事前にその薬局の資料があればイメージが付きやすいと思う。</li> </ul>
<p>(4)ドラッグストアでの仕事の流れや仕組み、働く際の注意点、失敗談などを学生に聞かせて欲しいと、研修先をお願いしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大変、良いと思う。ドラッグストアは、健康管理台帳とか化粧品台帳を使って接客することに力を入れているので、そういう体験ができると、さらによいと思う。</li> </ul>

③ホームカミングデー（7月実施予定・中村学科長より説明）

- ・同窓会を2年に1回実施してきたが、3年前からその年に卒業した人だけを対象に、6～7月にホームカミングデーを行うようにした。昨年はコロナ禍で11月にオンラインで計画した。来年度も実施を計画している。

④オンライン授業の拡充の検討（資料7参照・結城委員より説明）

- ・2020年度に行ったオンライン授業の実施状況は図表1のとおり。
- ・学生のオンライン環境に差があった。今後は、どのような環境を整備してほしいかを募集要項等に掲載する必要があると感じた。
- ・ものを書いたり、問題を解く授業は、自分のペースに合わせられるので時間が有効活用できる。
- ・来年度もできる限りオンラインの準備をしていく。期末試験もオンラインでの実施方法を検討する必要がある。

・オンライン授業に対しての質問・意見等：

質問・意見等	回答等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・私どもでやっているオンラインのセミナーや研修でも、質問がしやすいという声がある。</li> <li>・グループワークは取り入れているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループワークは、Zoomのブレイクアウト機能を使って実際に行っている。</li> </ul>

⑤登録販売者試験合格率向上の対策（資料8参照・中村学科長より説明）

(i)カリキュラム構成：

- ・1年生の前・後期で一通り登録販売者の試験に合格するための勉強を終える。
- ・第3章のでき具合が合否に関わるので、1年前期に関連する病気についての知識を深める。
- ・生薬・漢方については、楽しく、覚えやすいように工夫しながら1年後期に教えている。
- ・薬の知識を自然な形で覚えるために、応対の技術を1年前期に入れている。
- ・2年生の前期は試験対策を行う。

(ii)試験対策授業：

- ・夏休み期間中の試験対策授業はコロナ感染の状況を見ながら検討したい。
- ・十分理解できていない生徒には、別のアプローチとして宿題、補講をやらせる。

- ・ グーグルフォームなどを活用して、通学途中に都道府県問題集の演習ができるよう検討する。

(iii)生徒の試験合格に対する心の醸成：

- ・ グループ学習、試験、競い合いでモチベーションを高める。
- ・ 合格へのイメージ作りのため、演習問題、模擬試験などの「点数の推移表」を作成する。
- ・ 問題に出そうな重要な部分を、「キーワード集」にして学習しやすい資料を作成する。
- ・ 登録販売者取得者の経験談、卒業生懇談会等で、合格への意識づけをする。

(iv)登録販売者試験対策に対する質問・意見等：

質問・意見等	回答等
<p>(1)合格率向上のためには、過去問題集を数多くやる ことが重要であると言われている。問題の傾向が 分かり、実践力がつく。また、ドラッグストアで は、登録販売者には手当がついている。それだけ 専門家として認められているわけであり、試験に 受かった人は、お店にとっても重要なのだという 点を強調するとよいと思う。</p>	<p>・ 規制緩和により、薬剤師は医療のほうに近 づき、登録販売者は薬剤師の資格に近くな る流れがあり、登録販売者はますます、非 常に重みのある資格となっていく。また、 登録販売者の合格率、就職内定率は、生徒 にとっても、学科にとっても非常に重要な ポイントなので、もっと力を入れていきた い。</p>
<p>(2)働きながら登録販売者試験の勉強をしていくの は大変なので、学生時代に取得しておいたほうが よい、と学生に伝える。</p>	<p>・ 学生はそこまで思いが至らないところもあ るが、在学中に資格を取得しておけばよか った、と多くの卒業生が言っていることな どを紹介して、学生のやる気を刺激してい きたい。</p>

以上